

# 看護学部よくある Q&A



## I. 保健師課程に関する Q&A

**Q:保健師免許受験資格選択の課程は誰でもとることができますか？**

A:2 年生までの必修科目の成績と 3 年前期の地域看護学概論・各論の本試験の成績、および面接試験（保健師課程で学びたい動機等について）を総合的に評価して履修者（20 名以内）を決定しています。成績が選考対象となるため、早い時期からこつこつと勉強することをお勧めします。また、保健師の仕事の専門性について本などで調べておくと、動機づけに役立つと思います。

**Q:実習はどこでするのですか？**

A：全ての実習を都内で行っています。

4 年生の保健師課程の実習は、都内特別区の保健所・保健センターで 4 週間、その他に企業の工場見学実習や新宿区内の地域包括支援センターにも 1 日実習に行きます。約 5 週間の実習となります。

**Q:どのくらいの学生が保健師として就職しますか？どこに就職していますか？**

A:卒業後すぐに保健師になる学生は毎年数名程度です。病院での看護師経験を積んでから保健師になる卒業生も年間数名います。

就職先は、地域の保健所・保健センター（東京都、特別区のほか故郷など）、企業の健康管理室などです。

## II. 助産師課程（大学院 実践看護学Ⅱ分野ウーマンズヘルス）に関する Q&A

**Q:募集人員はどのくらいですか？**

**A:実践看護学Ⅱ分野（ウーマンズヘルス）の学生定員は7名となります。**

定員7名の中に、実践看護コース（助産師課程）と修士論文コースを含みます。

**Q:入学者の選抜はどのように行われますか？**

**A:受験者については試験で客観的に評価しています。過去の例では、本学部や他大学の出身者が入学していますし、学部からストレートに進学する者や看護師として臨床経験を積んでから進学する者もいます。**

**Q:助産課程の実習について教えてください。**

**A:2年間を通じて以下の実習をしています。実習施設は、東京女子医科大学本院、東医療センター、八千代医療センター、助産院などで行っています。**

・1年生⇒7月上旬～9月上旬で約10例の分娩介助を主に実習

12月～1月に助産院での実習（妊婦健診～分娩介助、助産管理について）

・2年生⇒1年3月～2年7月中旬で、産褥母児の継続実習1例と、妊婦健診と分娩介助～1ヵ月健診までの継続した実習1例。8月に、NICUの実習2日間。9月に、集団での健康教育（過去には、母親学級、育児クラスなど）。11月に、中学校での性教育

**Q:演習ではどのようなことを行いますか？**

**A:超音波画像診断、NCPR（新生児蘇生法）Aコース、会陰部縫合術などは、本学の医師と連携した特徴的な演習です。**

**Q:助産師国家試験合格と就職について教えてください。**

**A:助産師国家試験合格率は高いです。就職も本学をはじめとする病院等に100%就職しています。**